

## 特定非営利活動法人ぐるったネットワーク大町

### 2021年度 事業報告

2021年 4月 1日から 2022年 3月 31日まで

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束しない中、新しい生活様式に対応した事業を進めていく年となりました。最も大きな事業としては、休眠預金を活用した「子どもの居場所づくり」の事業です。丁寧に事業を進めたことでリピーターも増え、ぐるったネットワークのファンづくりに成果がありました。(メール連絡希望者 130 余名)

また、北アルプス国際芸術祭の開催に伴い、公式レストランの運営と、お弁当開発のコーディネートを受託し、飲食店と連携しながら食の提供を行いました。コロナ禍の行動様式の変化により事前予約の仕組みが難しく、販売数は伸び悩みましたが、地域連携の輪を広げることができました。

また、何度か検討されてきた旅行業の取得ですが、別に合同会社を立ち上げて観光部門を切り分け、非営利組織と営利組織を使い分けながら事業を進めていく体制が整いました。以下、具体的に報告をいたします。

#### ① 地域資源の発掘・保全事業

##### 1) わっぱらんど等のフィールド保全

わっぱらんどの保全作業 4/18 公園びらき、6月草刈り、12/5 公園じまい  
新型コロナウイルスの感染拡大の状況から、夏祭りは中止。

##### 2) 漬物・食文化等の継承事業

お菜洗いイベント 11月 24日、26日、27日 参加者 39名  
温泉郷の森林劇場が閉鎖となり、蓮華大橋のたもとにあるライスファームの温室で開催。

3) の「子どもの体験」事業の一環として、親子も 6 家族が参加。



##### 3) 地域資源の掘り起しと学び合い

休眠預金を活用して「子どもの居場所づくり」を継続

子どもの体験活動：8種類 13回 子ども 139名、大人 62名、講師・ボランティア 37名

ライチョウの餌づくり、竹林整備と淡竹採り、鹿島川で川遊び、木崎湖カヌー体験(4回)、大糸線の旅、お菜洗いと野沢菜漬け(3回)、カンジキをはいて遊ぼう、冬の動物探検物語  
放課後や長期休暇の居場所づくり：放課後自習室 8回 中高生 45名、ハロウィン 約 70名  
宿題かたづけ隊 4回、小中学生 116名、ボランティア 19名  
仁科台中学校の学習支援サポート

このほか SDGs に絡めた探求プログラムの開発を行った。

## ② 地域資源を活かした、青少年の健全育成事業および観光事業

### 1) 信州環境カレッジ学校講座を活用した市内小学生のわっぱらんど受け入れ 2回

「ミニ水族館をつくろう ガサガサ調査隊」

7月16日 大町南小学校1年生 児童46名、教員5名、ガイド4名

「ゲーム感覚で自然に触れよう！ 宝探し探検隊」

10月12日 大町北小学校1年生 児童46名、教員4名、ガイド4名



### 2) 小中学生のためのフォレスター養成講座

地元および都市部の小中学生と家族を対象に、次世代の森づくりを託せる森好きな子ども達を育てるため、千年の森自然学校と連携して、8月から22年6月までに6回イベントを開催。2021年度は8月に間伐・ツリーハウスづくり、9月にキノコ栽培と採集、計3回開催。

### 3) 観光事業の合同会社化と旅行業登録

長野県ソーシャルビジネス創業支援金を受け、10月1日に「合同会社北アルプス学びと遊びの旅行社」を設立。教育旅行、ツアーガイド、かんじきハイク、定住促進ツアー等の観光事業を旅行社へ移管した。ぐるったネットワークと同じ役員構成を考えていたが、創業支援の採択要件もあり、事務局の鈴木・小林が責任をもって事業を進めることとした。旅行取扱責任者には、ぐるったネットワーク副理事長の朝重さんが就任し、2月に長野県の旅行業(地域限定)に登録した。

## ③ 前項をとおした仕事おこし・地域づくり事業

### 1) 北アルプス国際芸術祭実行委員会より「公式レストラン」の運営を受託

会場・注文数：若一王子神社(参集殿) 370食、西山八王子神社(社務所) 86食

市内飲食店が作った特製御膳を、地元お母さんたちのお茶とおもてなしつきで提供した。料理については、10月は「農園カフェラビット」と「健菜樂食 Zen」、11月は「割烹桂(一部一番鮭)」と「仕出し惣菜はつ花」に依頼。また11月からは、若一王子神社の厨房の営業許可をとり、汁物を提供した。スタッフは芸術祭実行委員会で募集した登録メンバーと、ぐるったの職員で担当した。公式ツアーが1度も催行されなかったこともあり、客足は伸び悩んだが、2つの神社の協力で素晴らしい場を作ることができ、また飲食店との連携の施行により次回につながるプロジェクトとなった。



- 2) 「信濃大町の食 おいしいプロジェクト実行委員会」より、芸術祭に合わせた特製弁当のコーディネートを受託。

試食会参加店：9店 弁当提供店：7店 販売総数：200個

芸術祭期間中の昼食難民を出さず、密を避けた食を提供すること、飲食店の食品ロスを削減することを目的に、市内の飲食店に参加を呼びかけ、信濃大町ならではの「地彩べんとう」を開発した。完成した弁当や飲食店とのつながりは、今後につながる財産となった。事前のオンライン予約・決済の仕組みづくりも試行したが、コロナ禍での旅行様式の変化により実際の販売数は伸び悩んだ。

<https://chisaibento.stores.jp/>



- 3) 「北アルプスさいわい便」オンラインショップの運営

オンラインサイトを5月16日～5月31日の限定でオープン。10人から32点の注文があった。3件の飲食店からミールキット7点、雑貨2点を出品し、期日指定で送るオンラインショップを開設して食品素材の通販を試してみたが、クラウドファンディングの時ほどは集まらなかった。

<https://saiwai-package.square.site/>



- 4) 大町市定住促進協働会議より、「定住促進おためし体験ツアー」の企画実施を受託

7月17日～18日「信濃大町 夏を楽しむ体験ツアー」

6家族11人が参加。

(冬ツアーは旅行社へ移管)



- 5) 北アルプス山麓グランフォンドにおけるエイド運営

7月11日 イベント参加者550名

エイドスタッフ 約60名

白馬、鬼無里、戸隠、小川、ぽかぽか、美麻、鷹狩山、海ノ口、温泉郷の

9か所のエイドを運営。





6) アルプスあずみのセンチュリーライド エイド運営受託 →中止

7) 出版物の編集・制作

- ・大町市防火管理協議会：総会資料の印刷製本
- ・若一王子神社：夏越の大祓式 新聞折り込みチラシのデザイン・印刷
- ・大町市観光協会：塩の道ウォーク・ウォーキングマップの修正



- ・大町市プロモーション委員会：信濃大町スイーツプロジェクト手書きマップ作製

#### ④ 地域の市民活動をつなぐためのネットワーク事業

1) 補助金の申請サポート

八十二銀行、北アルプス振興局、中小企業団体中央会等と連携して、中小事業者向けのウィズコロナ・ポストコロナの事業戦略を応援する補助金の勉強会を開催。

4月12日 大町市商工会議所 参加者17名

5月に You tube で講座を公開



2) 市民活動のサポート・地域連携

12/4「ぼくらの市民活動フォーラム」事例発表（大町市市民活動サポートセンター事務局）

1/20 長野大学ソーシャルイノベーション創出センターのオンライン講座で事例紹介

その他地域の会議等への参加、イベント応援

3) 団体加入：大町市観光協会、大町商工会議所、大町商工会議所青年部、

長野県中小企業団体中央会、地域づくりネットワーク、長野県みらい基金

4) 委員出向：大町まちづくり協議会（佐藤理事長）、定住促進協働会議（藤巻監事）、

北アルプス国際芸術祭実行委員会・仁科台中学校学校運営協議会・大町市常盤公民館運営審議会・

みんなで支える森林づくり北アルプス地域会議・信濃大町100人衆プロジェクト（鈴木）

みんなで支える森林づくり県民会議（小林）

5) 会議室・プリンター・備品等貸出

## ⑤ 地域情報の収集・発信事業

### 1) 地域資源のプロデュース

- ・大町市観光課：仁科神明宮の境内案内の多言語化（日本語、英語、中国語-簡体・繁体、韓国語）と神社内案内板（QRコード対応）制作
- ・北アルプス地域振興局：北アルプス山麓ブランドの海外向けホームページ作成



### 2) 大糸タイムス掲載「ぐるっとマップ」の制作

4~12月に22回制作。300号をもって区切りとした。

- 4月 桜だより ロケ地を訪ねて 春の花巡り
- 5月 小谷・白馬の棚田 花とハーブの里（池田）
- 6月 信濃大町スイーツプロジェクト 続・信濃大町スイーツプロジェクト
- 7月 北アルプス山麓グランフォンド 北アルプス地域のこどもカフェ
- 8月 白馬ラン&サイクルスタンプラリー 北アルプス
- 9月 兵どもが夢の跡 北アルプス山麓育ちオリジナル弁当
- 10月 北アルプス国際芸術祭 大町の未来を探る
- 11月 バランスごはんスタンプラリー
- 12月 池田街中散策 鎌倉時代の大北地域

### 3) SNS等を活用した情報発信

Facebook：60回、Twitter：@GruttaNetwork、Instagram：@grutta\_omachi で発信

## ⑥ その他（管理部門）

- ・定款の改正（5月総会）

NPO法改正による活動種類の加筆と、メールによる召集・議決・表決等を加えて改正

- ・規約等の作成と見直し（3月理事会）

休眠預金の助成金が必要になり、事務局規定、情報公開規定、文書管理規定、ガバナンス・コンプライアンス規定を作成し、Webで公開